



病院薬剤師の一日の流れ ①



2年目 ○○さんの場合

新規採用で入職し今年2年目の○○さん。いつもテキパキ働く姿が印象的ですが、一日どのように働いているのでしょうか。密着してみました。

8:30

中央業務

- ・抗がん剤調製
- ・TPN製剤調製



抗がん剤を調製している様子

抗がん剤に曝露しないよう慎重に陰圧操作を行っています。慣れない調製や機械の操作も先輩方の丁寧な指導のおかげでできるようになってきました。高額な薬が多く緊張感をもって調製に臨んでいます。



10:00

12:00

お昼休憩



みなさん土産を持ち寄って…♪

13:00

中央業務

- ・注射薬業務

病棟業務

週1回担当病棟にて定数薬のチェックやインシデントの対策検討を看護師さんと実施しています。



電子カルテから患者さんの情報収集中

沢山の注射薬カート

内服薬と異なり、投与速度や濃度、配合変化についても確認する必要があります。最近では、抗がん剤の指示書や処方せんもチェックも任せていただけるようになり、業務の幅が広がってきました。



17:15

働いてみて感じたこと

投与量計算やごく少量の調剤など、小児特有の細かい調剤に慣れるまでは時間がかかりましたが、周囲の方々に支えられながら少しずつ円滑な業務ができるようになりました。

2年目では、病棟で他職種の方々と患者さんと接する機会が増えてきたため、治療に貢献できるように、薬学的知識を更に深めていきたいです。



いかがだったでしょうか。

2年目になると、TPNの調製や抗がん剤の調製など病院薬剤師ならではの業務を習得する機会が巡ってきます。また、現在コロナ禍で縮小傾向ではありますが、病棟にて耳鼻科や整形外科、腎臓科の患者さんを対象に服薬指導にも行くようになります。

最初は不安かもしれませんが、先輩薬剤師がそばにいますので分からないことはいつでも質問してくださいね。



病院薬剤師の一日の流れ ②



12 年目 ○○さんの場合

病棟担当の薬剤師はどのように働いているのでしょうか。密着してみました。

8:00

病棟薬剤業務

- ・朝カンファレンス参加
- ・薬剤の用法用量、
配合変化等のチェック
- ・麻薬、向精神薬、
毒薬管理



麻薬管理業務の様子

カンファレンスは 1 日の治療方針を決める大事な場面なので緊張感があります。医師からその場で質問もされます。

集中治療室にいる患者さんは少しの薬剤の変更でも大きく状態が変わることもあるので、私たちも細心の注意を払っています。



10:00

12:00

お昼休憩

13:00

中央業務

or

病棟薬剤業務

- ・相談応需
- ・ミーティング参加



多職種ミーティングの様子

午後は中央業務を行いながら、電話等で医師や看護師からの相談対応をしています。

また、医療安全を向上させるための多職種ミーティングや、薬剤業務をより良い形にしていけるために、定期的に医師・看護師と会議も行っています。



14:00

15:30

16:00

17:15

働いてみて感じていること

成人の治療は、ガイドラインや添付文書等に沿って行われますが、小児ではガイドラインどころか、小児用量の情報がない薬剤も多いのが現状です。特にこの病院では治療が確立していないような希少疾病の患者さんも多く、探り探りその患者さん個人にあった治療を行っていきます。添付文書で決まっていなくても、薬剤を適当に使用して良いことにはなりません。いろいろな文献を探し、薬剤の特性、患者さんの状態等から総合的に考えて、薬剤の安全性と有効性を高めていく力が小児病院の薬剤師に必要とされます。研鑽の毎日です。

いかがだったでしょうか。

